

特別会計 企業会計

市では、一般会計以外に特別会計が7会計、企業会計が3会計あります。
特別会計を前年度と比較すると、一般会計からの繰入金は、特別会計全体で2,293万円増加しました。

●特別会計…特定の収入でその支出が賄えるもの

会計名	歳入	歳出	歳入のうち一般会計からの繰入金
国民健康保険特別会計	45億2,694万円	45億2,662万円	3億8,356万円
後期高齢者医療保険特別会計	5億2,804万円	5億1,545万円	1億4,621万円
介護保険特別会計	32億4,849万円	31億7,697万円	4億8,775万円
工業団地造成事業特別会計	1億1,748万円	1億1,748万円	0万円
下水道事業特別会計	7億5,144万円	7億2,796万円	4億5,854万円
農業集落排水事業特別会計	3億6,753万円	3億6,753万円	2億9,600万円
漁業集落排水事業特別会計	3,202万円	3,202万円	3,055万円

※一般会計から総額18億261万円が繰り入れられました

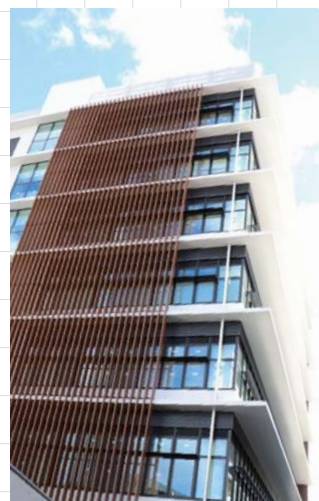
●企業会計…使用料などの収益があり、支出を収益で賄っているもの

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	前年度繰越金などからの補てん額
水道事業会計	4億2,533万円	3億5,384万円	4,625万円	2億5,555万円	2億930万円
簡易水道事業会計	1億3,784万円	1億7,324万円	3億6,168万円	1億5,217万円	0万円
工業用水道事業会計	6,098万円	6,297万円	0万円	895万円	895万円

借金返済(一般会計公債費)

借金残高は、**149億2,525万円**
平成30年度の借金返済額は、29億2,660万円

計画的に返済



借金の返済額は、29億2,660万円で、前年度に比べ7億6,652万円減少しています。

平成30年度末の借金残高は、新庁舎建設事業に伴う借入額の増加などにより、前年度と比べると1億3,227万円の増加となっています。市民1人あたりになると、449,096円となります。

基金積立(一般会計積立金)

積立総額は、**124億9,593万円**
平成30年度の基金積立額は、9億8,421万円

将来に備え貯金

基金積立額は、9億8,421万円で、前年度に比べ1億1,967万円減少しています。

内容は、前年度の純繰越金の2分の1以上を積み立てることと規定されている財政調整基金に4億4,069万円、ふるさと応援基金に2億9,027万円などとなっています。

平成30年度末の基金現在高は、前年度と比べると3億6,294万円の減少となっています。市民1人あたりになると、375,998円となります。



一般会計と別のお財布と考えてね



決算報告

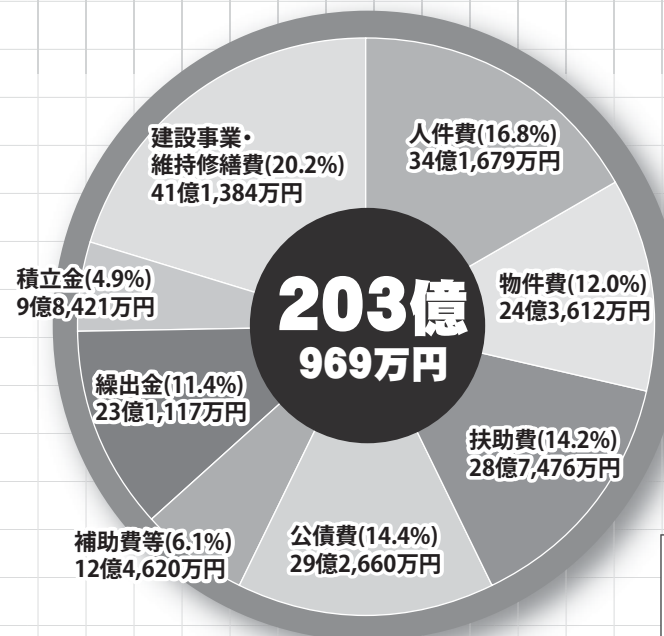
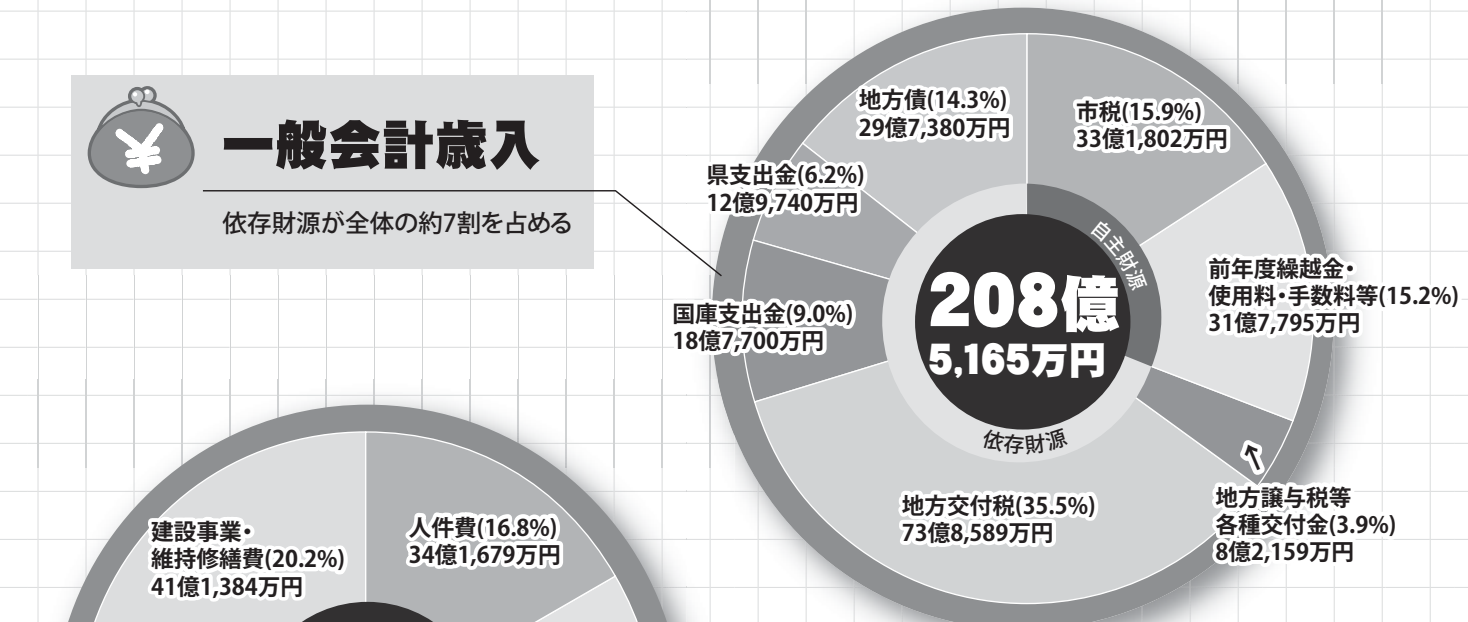
平成30年度

平成30年度決算が令和元年12月市議会で認定されました。毎年公表される決算報告は、将来を見極めるうえで大切な指標となります。平成30年度はどれだけのお金をどのように使ったのかお知らせします。



一般会計歳入

依存財源が全体の約7割を占める



一般会計歳出

前年度に比べて約4億4,877万円の減額

次年度繰越金
歳入 208億5,165万円
→ 歳出 203億969万円
5億4,196万円
(繰越金のうち2億8,013万円は繰越事業費)
※前年度の事業が本年度に繰り越されたもの

一般会計をチェック!

平成30年度一般会計の決算は、歳入総額208億5,165万円、歳出総額203億969万円となりました。前年度に比べ、歳入において3億9,608万円の減、歳出においても4億4,877万円の減となりました。主な要因は、歳入では、普通建設事業費の減に伴う国庫支出金の減、歳出では、公債費や扶助費の減によるものです。

また、歳入から歳出を差し引いた形式収支は、5億4,196万円の黒字に、形式収支から翌年度へ繰

り越した事業に充てるための財源を控除した実質収支は2億6,183万円の黒字になりました。

しかしながら、歳入総額の約3割を占める普通交付税については、合併算定替による加算分の段階的縮減がさらに進むことなどから、市の財政状況はより厳しいものになっていくと予想されます。

